

【各教科・領域】 人権課題「子供」を取り上げた人権学習

特別支援学級の実践例（個別的な視点からの取組）

総合的な学習の時間 「シトラスリボンプロジェクト」

目標

・新型コロナウイルス感染症に関連する内容について、正しく理解させるとともに、周りの人と温かい関係を築くことの大切さに気付かせ、差別のない社会を創り出そうとする態度を養う。

人権教育の視点

・新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別、いじめをしないことを広める活動を通して、人間関係をより良く形成しようとする態度を育てる。

活動

・新型コロナウイルス感染症について学び、みんなが安心して生活できるようにするための取組について考えました。
・みんなが生活しやすい社会とするために大切なことを考えて、みんなの前で発表することを行いました。

成果

・みんなが生活しやすい社会にするために、自分に何ができるかを考えるきっかけとなりました。



【道徳科】 道徳授業地区公開講座・講演会

人権課題「災害に伴う人権問題」を取り上げた人権学習

全学年の実践例（個別的な視点からの取組）

人権教育の視点

災害発生時における災害弱者への配慮の重要性や根拠のない思い込み、偏見・差別意識は人権侵害につながることへの理解を通して、社会に貢献する態度や社会の一員である自覚を深めさせる。

本校では、東日本大震災以来、10年間「3.11からの復興のために」をテーマに、道徳授業地区公開講座・講演会を行ってきました。

平成30年度 ……特定非営利活動法人 富岡町3.11を語る会（講師：遠藤 裕也 様）

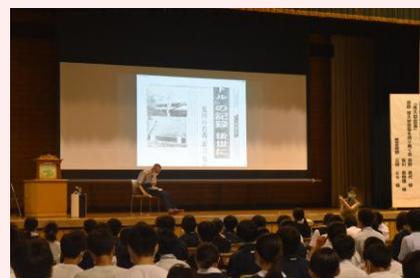
令和元年度 ……特定非営利活動法人 プラスアーツ（講師：佐々木 真琴 様）

令和2年度 ……一般社団法人マルゴト陸前高田（講師：石井 恵一 様）

令和3年度は、震災当時中学3年生だった齊藤春貴さん（陸前高田市広田町出身）をお招きして、「震災から10年—継承について考えてみよう—」という演題で、道徳講演会を実施しました。齊藤さんが何度も繰り返しておっしゃっていた、「自分たちの街を愛し続けてください」という言葉がとても印象に残りました。

成果

・他者の立場を考え、行動することの大切さに改めて気付く機会となりました。



令和4年度は、戦争被害をテーマに道徳授業地区公開講座を行いました。「尾久本土初空襲」というテーマで、尾久初空襲を語る会の皆様に御講演をいただき、太平洋戦争の際に地元で起きた戦争被害についてお話いただきました。